

(様式第2号)

SDGs達成に向けた取組チェックリスト

※注(全…九州教員グループ、KK…九州教員協 QS…Q-bicソリューションズ㈱、QH…Q-bicホテルズ㈱)

(基本:記載必須、チャレンジ:3項目以上記載必須)

九州教員株式会社

番号	項目	基本/ チャレンジ	具体的な取組内容	対応する主なSDGsの17のゴールと169のターゲット																	
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
1	【内部管理体制】 経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	全:各種媒体(HPやパンフレット)へ掲載し公開している。 全:社員研修で共有している。 全:社内イベントの冒頭に社是唱和を励行。							8	9							17			
2	【法令遵守】 法令順守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	全:専門部署を設置し、新法令の把握と情報収集を実施。施行時には注意点を配布している。														16				
3	【組織体制】 企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している	基本	全:専門部署を設置し、広報/広聴を実施している。														16				
4	【ステークホルダーとの対話】 ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	基本	全:専門部署を設置し、活動内容の社内外への情報提供を実施している。														16	17			
5	【SDGsの普及啓発(内部)】 社内において、従業員へのSDGsに関する教育機会を適切に確保することで、SDGsの理念が社内に浸透している	基本	全:朝礼や会議での報告・事例共有、HP・パンフレットの作成、社員研修での教育などを行っている。 全:専門部署が社内各企画へ参加しSDGs活動に則った企画となるようフォローしている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
6	【社会的責任】 CSR(企業等の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	KK、QS:地域の清掃活動に参加するなど、地元との関係構築に努めている。 全:CSV経営を方針として掲げ、継続的に地域課題解決に取り組んでいる。																16		
7	【災害や事故などのリスクへの備え】 自然災害や事故などを想定した事業継続計画を策定し、リスクへの備えを行っている	チャレンジ	全:感染症対策マニュアルを完備している。 予定:全:BCPを策定する。									9	11			13	13.1		16	17	
8	【事業承継】 事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ									8	9								17	
9	【フェアトレード】 フェアトレード商品の調達に取り組んでいる	チャレンジ		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17	
10	【公正な競争】 汚職・贈収賄の禁止及び不正な競争に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	全:行動規範を掲げ、社員に周知している。 全:全社会議で情報共有を行い、法令遵守への機運を高めている。																16	16.5	
11	【個人情報保護】 個人情報を適切に管理している	基本	全:当該省庁発出のガイドラインに沿って法令を遵守している。																	16	
12	【知的財産保護】 知的財産の保護に取り組んでいる	基本	全:当該省庁発出のガイドラインに沿って法令を遵守している。								8.2	8.3	9								
13	【サプライチェーン管理】 サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	全:ビジネスパートナーとの定期的な契約内容見直しを実施している。 全:下請法や建設業法などの遵守に努めている。					5			8		10		12	13	14	15	16	17	
14	【差別・ハラスメントの禁止】 性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している	基本	全:性別や人種等の違いによる、業務内容等の差別的待遇を行っていない。 全:ハラスメントホットラインを設置して、通常のレポートラインと異なる連絡経路を確立している。					4.3	5.1		8.5								16.1	16.2	16.7
15	【労働安全衛生】 作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	全:専門部署による中期計画を策定し労働環境の整備に取り組んでいる。			3					8	8.8									
16	【ダイバーシティ経営】 多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	全:国籍や性別・年齢に捉われない採用・教育・評価制度を行っている。					4.4	5.1	5.5	8.5			10.2	10.3					16.7	

(様式第2号)

※注(全・・・九州教具グループ、KK・・・九州教具㈱ QS・・・Q-bicソリューションズ㈱、QH・・・Q-bicホテルズ㈱)

SDGs達成に向けた取組チェックリスト

(基本:記載必須、チャレンジ:3項目以上記載必須)

九州教具株式会社

番号	項目	基本/ チャレンジ	具体的な取組内容	対応する主なSDGsの17のゴールと169のターゲット																
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
17	【人材育成】 適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	全:階層別研修などを計画的に実施している。 全:通信教育講座などを奨励し、社員自らが取り組める環境づくりを行っている。				4	5.5			8	9								
18	【公正な待遇】 雇用形態に関わらず、同一労働、同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	全:同一労働同一賃金ガイドラインに沿った体制の整備を行っている。					5.5			8.5	10.2 10.3								
19	【健康経営】 従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる	基本	全:ワークライフバランスの推進とDX化を推し進め生産性向上を計りながら、社員の健康維持に取り組んでいる。			3					8							17		
20	【ワークライフバランス】 働き方の見直し等により、長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るライフワークバランスを推進している	基本	全:ワークライフバランスを尊重する風土を醸成し、定期的な声かけを実施している。			3		5.5			8.5 8.8	10.3								
21	【DXの推進】 ICTやAIを活用したデジタル化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる	チャレンジ	全:テレビ会議システムを導入し、拠点間会議での移動時間を削減。 QS:DX推進の担当者を選任し、各部署の調整とシステム化を推進している。 QH:自動チェックイン機を導入し作業内容を軽減した。								8	9.1	11	12						
22	【廃棄物・有害化学物質】 廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる	基本	全:廃棄物処理を専門業者へアウトソーシングし指導を受けている。 全:産業廃棄物に関しては定期的に専門業者へ依頼して適切な処理を徹底している。			3.9			6.3				12.3 12.4 12.5		14.1	15.1				
23	【エネルギー・温暖化】 自社のエネルギー使用量や温室効果ガスの排出量を把握し、その使用量削減や排出量の抑制に取り組んでいる	基本	全:エネルギー毎に月次集計を行い、前年度と比較する事で削減に取り組んでいる。 QS:営業車両台数の適正化に取り組んでいる。 QH:照明のLED化を完了している。			2.4					7.2 7.3 7.a		12.4	13 13.3	14	15				
24	【環境配慮】 自社活動において、環境に配慮した製品の取り扱いに取り組んでいる	基本	QS:環境配慮型機器の販売を推進している。 QH:レストランにて紙製の容器を一部採用している。						6 6.6			9.4	12 12.4 12.5	13	14	15				
25	【3Rの推進】 限られた資源を有効利用するため、3R(リデュース、リユース、リサイクル)に取り組んでいる	基本	全:ゴミ分別に努め、3R推進に取り組んでいる。 KK:飲料水事業において、無駄な資源を消費しないようにリターナブルボトルでの提供を行っている。						6.3			9.4	11.6	12 12.2 12.4 12.5	13	14 14.1	15			
26	【水の管理】 自社の水の利用状況を把握し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	全:月次集計による前年対比を行い削減に努めている。 QH:レストランでは紙製容器採用により洗浄水削減を実施している。			2.4			6.1 6.3 6.4 6.6 6.b				11.5			14.1 14.2 14.3	15	17		
27	【再生可能エネルギーの利用】 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ									7.1 7.2 7.3 7.a	9.4	11.5		13 13.1 13.3					
28	【環境マネジメントシステム】 ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ				3.9			6	7			12	13.3	14	15				
29	【環境情報開示】 環境の取組に関する情報を正しく開示している	チャレンジ											12.6							
30	【天然資源の持続的利用】 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ											12.2	13	14	15				
31	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる	チャレンジ	QH:バイキングの提供方法を、大皿から小分け方式に変更し、廃棄量を記録するなど食品ロス削減に取り組んでいる。	1	2				6.4				12.3		14	15		17		
32	【森林資源の循環利用に向けた取組】 植林等、持続的な森林利用への取組を行っている	チャレンジ							6 6.1 6.3 6.6			9.4	11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			

